

## 令和2年度 第5回 高石市行政計画審議会 議事録

【開催日時】 令和3年1月13日（水） 午後2時30分から開催

【開催場所】 高石市役所 別館3階 多目的ホール

【出席委員】 委員15名中12名の委員が出席のうえ開催された。

日野 泰雄 榎村 久子 永山 誠  
久保田和典 森 博英 清水 明治  
東口 正一 西村 陽子 中平 正子  
藤田 政明 田中三和子 石原 誠之  
(以上委員12名)

【欠席委員】 畠中 宗一 山内 和彦 羽間 靖志

【傍聴者】 なし

【日 程】 (1) 報告第1号 第5次高石市総合計画基本計画（原案）について

【確認事項】 本日の議事録署名人には、東口委員と藤田委員が指名された。

【質疑応答】 報告第1号 第5次高石市総合計画基本計画（原案）について

(委員) 基本的な概念や重要なキーワードを明示しておかないと、具体的事業に展開しにくいと思う。

(事務局) 検討する。

(委員) パワーポイント資料の第2章第4節に「タブレット・スマートフォンなどICTを活用した地域活動の推進」が示されているが、具体的にどのようなことをイメージしているのか。

(事務局) 詳細については、後日報告する。

(会長) デジタル化については、高石市としてどのようなことに力を入れるのか、その方向性が明示されていることが望ましいと思うので、検討してほしい。

(委員) 基本計画の第4章第2節の産業振興・賑わい創出に、農業・漁業の活性化の取り組みが明示されているのは良いことだと思う。

(委員) 多様性を認めていく方向にあるということから、ダイバーシティやパートナーシッ

プという言葉が明示的になっていた方が良いと思う。

(委員) 自治会のパンフレット作成などの支援策にも言及した方が良いのではないか。

(事務局) パワーポイント資料の第5章第2節で「リーフレットの配布等による自治会への加入促進」を例示している。ただし、これまでの総合計画と同様、具体的事業を基本計画に記載することは難しい。

(会長) 具体的事業を基本計画に列挙することはなじまないが、基本計画の文面から、実施計画や具体の事業がある程度イメージできる方が市民にとってわかりやすい計画になると思う。

(委員) 基本計画の第2章第4節の施策を取り巻く状況のところ、無縁社会や無関心社会ということにも触れてはどうか。第5章第1節の施策を取り巻く状況では、5月30日に行われているごみゼロの日の老人会活動や、ボランティア清掃に関わる婦人団体協議会等の活動も明示してはどうか。

(事務局) 担当課と調整して後日報告する。

(委員) 了解した。

(委員) 高齢化社会とデジタル技術の関連性を見えやすい形で落とし込むと良いと思う。

(事務局) デジタル技術の活用については、全庁的に共通認識を持った上で、基本計画の中でどこまで落とし込めるか、または、実施計画の中でどう関連づけるかを検討する。

(委員) 基本計画の第5章第1節に、脱炭素と資源循環社会とあるが、環境課題の3本柱の1つである自然環境保全を加えるべきではないか。緑をはじめとした自然を保全しながら、どのように脱炭素・資源循環社会を構築するのかという記述になる方が良いと思う。

(事務局) 担当課と調整する。

(委員) 基本計画の第4章第3節の主要な取り組みの中で、「高石駅、羽衣駅、富木駅ほか、市内駅周辺の環境整備の推進」とあり、富木地区が加えられていることは良いことだと思う。

(会長) 高齢者の活躍をはじめ、あらゆる世代の市民が協働まちづくりの主役になるためには、市民の個性を提供していただくための人材バンクにつながる記述が必要だと思う。

(事務局) 他にご意見等があれば1月15日までご連絡頂きたい。

(会長) 第二次の緊急事態宣言が出されるなど新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、リモートによる開催などについて検討しているか。

(事務局) 大阪府の意見を聞きながら情報担当部局と調整しており、可能な範囲でリモート会議の開催も検討したい。

(会長) 今後のパブリックコメントのスケジュール等について説明されたい。

(事務局) 本日配付した基本計画（原案）と概要版の資料について、1月14日から2月10

日までの間、パブリックコメントを実施する。次の審議会で各委員のご意見とパブリックコメントのご意見を反映した基本計画（案）を諮問する予定である。これに併せて、パブリックコメントの資料としても基本計画（案）及び新旧対照表を追加し、改めて意見を募集する予定になっている。

（事務局）次回の審議会は1月28日を予定しているので、出席をお願いしたい。

**【午後4時閉会】**